

平成28年度 鳥獣被害対策技術情報 第1号

(平成28年5月31日)



6月の鳥獣被害対策



福島県農林水産部農業振興課

本年は、これまでになく、各地でクマの目撃情報が相次いでいます。市街地にも出没するなどしており、例年以上の注意が必要です。特に、早朝や夕暮れ時に林縁部や川(沢)沿いなど、出没の可能性が高い場所での農作業は避けましょう。

また、夏野菜やオウトウなどが間もなく収穫の時期を迎えます。それに伴い、野生鳥獣の農作物被害が増加してきます。早めの対策を心がけましょう。

1 夏野菜の対策

山林の食べ物が少なくなる6月以降は、野生鳥獣にとって各地で栽培される夏野菜は魅力ある食べ物になります。ジャガイモやトウモロコシ、スイカなどの果菜類は特に注意が必要です。これまで被害にあっている場合やほ場周辺に野生鳥獣の痕跡が認められる時は、早めに周辺のやぶの刈払いや防護柵の設置を進めましょう。

被害に遭ってからの対策の実施は、野生鳥獣が味覚を覚えてしまい食べようとする意欲が旺盛になるため、効果が出にくくなります。

防護柵を設置する場合は、獣種により異なりますので、次の内容を参考にしてください。また、複数の獣種が加害している場合は、ネットやワイヤーメッシュ、電気ワイヤーなどを組み合わせた複合柵の設置を検討する必要がありますので、近くの農林事務所農業振興普及部や農業普及所にご相談ください。

(1) ツキノワグマ

電気さくを、ほ場周囲に地面から20cm間隔で3段
(各段ともプラス通電)設置しましょう。

(2) イノシシ

ア 電気さく

ほ場周囲に地面から20cm間隔で2段 (各段とも
プラス通電)設置しましょう。

イ ワイヤーメッシュ柵

ワイヤーの太さが4～5mm、10cm目合で幅(高さ)
が1mのものを使用し、支柱は十分な強度があるものを選びましょう。支柱には太さ13mm、長さ1.5mの異形棒鋼などを用いると十分な強度が確保できます。



イノシシ被害対策のワイヤーメッシュ柵

(3) ニホンザル

電気さくを設置する場合は、まず、地面から15cmに1段、次いで20cm間隔で7段、計8段のワイヤーを張ることが基本となります。

1段目のワイヤー設置位置を地面から15cmとするのは幼獣の地際からの侵入を防ぐためです。また、各ワイヤーの通電は地面から3、5、7段目がマイナス、そのほかはプラス通電とします。

また、サル用のネット型の電気さくも市販されています。価格はやや高くなりますが、設置や片付けはワイヤー型より簡便です。予算を考慮し検討してください。

(4) 中型動物（ハクビシンなど）

中型動物では電気さくを地面から10cm間隔で3段（各段ともプラス通電）張り、柵の内側に支柱を利用しネットを設置すると、飛び込みなどの侵入が少なくなり被害がより軽減できます。ネットは、野菜誘引用など安価な市販品で十分です。

また、ハクビシンなど登ることが得意な獣種は、埼玉県が開発したネットと電気さくを組み合わせた防護柵「楽落くん」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/cyoujyuu-tantou.html>) を活用すると侵入防止効果が高まります。「楽落くん」を設置する場合は、ネットが破損していないことやネットと地面との間に隙間をなくすことが大切です。

ハクビシンなどの中型動物は、被害ほ場周辺の廃屋や神社仏閣、住宅や倉庫の屋根裏、野積みされた樹木などの中を寝床としていることが多く、その解消も重要です。



ハクビシン被害対策の電気さく
(農業総合センター企画経営部撮影)



ハクビシン被害対策の防獣ネット（下段）
と電気さく（上段）を組み合わせた複合柵
(特定非営利活動法人おーでらす撮影)

2 オウトウの中型動物対策

オウトウは収穫期になると、ハクビシンなど中型動物による食害が各地でみられま

す。例えば、果実の軸だけが樹木に残っていたり、樹木のそばに糞があった場合などはハクビシンによる被害の可能性があります。

雨よけ施設の側面を地際との隙間なく防鳥ネットなどで覆っても侵入の痕跡が認められる場合は、施設周囲に電気柵を地面から10cm間隔で3段（各段ともプラス通電）張ると侵入防止効果が高まります。

3 ツキノワグマによる人身被害の回避

クマが活発に行動する早朝や夕暮れ時に、林縁部や川（沢）沿いの農地で作業することは避けましょう。特に、これまで、農作物被害が発生したり痕跡のあった農地周辺は危険です。やむを得ず作業しなければならない場合は、クマの潜んでいそうな場所に向けて追い払い用の花火を打ち上げたり、鈴を鳴らすなどしてから作業を始めましょう。

なお、クマは夜行性ではないため、降雨や霧が発生している時は、明るい時間帯でも出没する可能性が高まりますので、目撃情報があった地域などでは特に注意してください。

※ツキノワグマの生息状況等は、平成28年3月15日付け「鳥獣被害対策について（その5）」で提供しております。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

○ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>

